

株主通信

セコム株式会社

6月

第53期決算報告

2014年





ビッグデータを有効活用し これからの社会に必要なサービスを創出

当期の業績、今後の取り組み、
ビッグデータの活用について、
社長の伊藤 博から
ご説明させていただきます。

伊藤 博

セコム株式会社 代表取締役社長



当期は売上高・営業利益・経常利益および当期純利益が
過去最高となりました。要因は何だとお考えですか。

“ALL SECOM”体制が機能し始めたこと、高まる
社会やお客様からの信頼と期待に迅速かつ誠実にお
応えしてきたことがその要因だと思います。この二つ
は今後もセコムグループ発展の鍵となります。

“ALL SECOM”とは社会に「安全・安心・快適・便利」な
サービスを提供する「社会システム産業」をグループ
の総力をあげて加速する戦略のことです。

前田会長、伊藤社長による新体制が発表されました。
今後の取り組み姿勢を教えてください。

2012年にセコムは創立50周年記念イベント
ALL SECOM「セコムフェア2012」を開催しまし
た。このときセコムは、私たちの行っている事業を「セ
キュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」の3つの
分野に大別して、社会やお客様にとって不可欠となる
であろう37のサービスを創出していくことを社内外
に表明し、セコムの進むべき方向性を明確にしました。

37のサービスのうち、昨年は高齢者向けの救急時対応サービス「セコム・マイドクタープラス」と、次世代防災サービス「リアルタイム災害情報サービス」を発売しました。

これからも新サービスや新システムの開発スピードを加速させていきます。また、サービスの事業基盤となるデータセンターや情報通信などのインフラ強化、人材育成を図り、“ALL SECOM”で事業を推進していきます。

次々と革新的なサービスを創出するセコム。 その鍵を教えてください。

セコムは、将来、どのようなサービスが必要になるかを日々考え、それを実現するためには、どのようなインフラ、技術、情報が必要かを考えています。このように、常にサービスからものを考えることが鍵だと言えます。

たとえば、GPSと携帯電話の基地局などを利用した位置情報提供システム「ココセコム」。子どもの連れ去りや高齢者の徘徊、車の盗難が問題になり始め、その解決策として2001年に販売を開始しました。

現在では、人や車だけでなく、物やペットなど、対象も多様化するとともに、セキュリティシステムの通信回線としての用途も広がり、携帯電話網を利用したサービスが100万件を突破しました。

このように、セコムは時代や社会の変化を先読みして、社会に必要なサービスを創出しています。

情報社会の現在、ビッグデータの活用に関心が集まっています。

今後、社会にとって必要な新しいサービスを提供していくためにはさまざまなデータの活用が必要です。

たとえば「リアルタイム災害情報サービス」では、セコムが独自に集積してきた災害に関する情報のほか、公的機関やツイッターなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の災害・避難情報などをセコムが独自に収集・解析することで、信頼度の高い、有益な情報を迅速に提供することを可能にしました。

これからもビッグデータを活用し、新しいサービスの創出に努めていきます。

最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

セコムの強みは、長年、拡充してきたセキュリティサービスをはじめ、それらの運営を通じてよく訓練されたプロフェッショナルな人材がいることと、高度な技術力と情報通信基盤を活用した「安全・安心」のサービスを提供できることです。こうしたセコムの強みをさらに強固なものにし、お客様に信頼される、より質の高いサービスを提供していくことがセコムの責務と考え、事業運営に邁進していきます。

高付加価値のサービスが高い評価 「セコムLX」と「セコムFX」が好調

■ 防犯機能と出入管理機能が一体となり業務の利便性を向上

2011年1月に販売を開始した「セコムLX」は、お客様に働きやすく「安全・安心」な環境を提供できるオンライン・セキュリティシステムです。

お客様がすでにお使いの社員証などのICカードをそのままセキュリティシステムの操作に使えるだけでなく、勤怠管理や複合機の操作も同じICカードで行えるため、サービス残業の抑止やコスト削減の効果が期待できます。

さらに、ご契約先の責任者により、ICカードの登録、削除、更新などができるため、複数の事務所や店舗も1枚のカードで利用することができます。

■ オフィスの設備制御から店舗の自動運営までサポート

2008年7月に販売を開始した「セコムFX」は、企業



防犯から出入管理まで
トータルな「安全・安心」を提供する「セコムLX」



コインランドリーなどで
活用されている
「セコムFX」

の経費削減や環境問題への取り組みに貢献するオンライン・セキュリティシステムです。

「セコムFX」は、防犯・火災監視はもちろんのこと、照明や空調の制御もシステムが自動で行います。また、無人店舗であれば、出入口のシャッターを自動で開閉制御できるほか、監視カメラや店舗に流すBGMなどの制御も可能です。

オフィスはもちろん、コインランドリーなどの無人店舗やマンションの共有部などで多くご利用いただいています。

セキュリティシステムとして、防犯・火災監視機能だけでなく、出入管理機能をはじめ、多彩な設備制御機能を備えた「セコムLX」「セコムFX」は、高付加価値なサービスとして、お客様から高い評価をいただいています。



環境問題への取り組みにもつながる「セコムFX」

あらゆる監視のニーズに応える 「セコムNVRシステム」を販売開始

今年6月、セコムが培ってきたセキュリティのノウハウを結集した次世代型監視カメラシステム「セコムNVRシステム」を販売開始しました。

近年、企業内にある重要物の管理や工場での製造ラインなどの監視ニーズが高まっています。また、個人情報漏えいなどが社会問題化し、企業の内部統制の強化が注目を集めています。

「セコムNVRシステム」は、お客様の「複数拠点に設置されたカメラ画像を一括管理したい」、「高画質で長時間記録をしたい」、「記録画像の消失などが起きないようにしたい」といったご要望にお応えする監視カメラシステムです。

本システムは、高精細なフルハイビジョンできれいな画像を録画できるカメラをはじめ、照度補正カメラやダイナイトカメラなど、カメラの種類も充実しています。さらに、監視カメラにはセコムならではの、不審者によるカメラの覆い隠しや向きの変更といった、不正行為の検知にも対応しています。

オフィス、金融機関、住宅、店舗などあらゆる場所のさまざまなニーズに、セコムならではの高品質なシステムとサービスで応えていきます。



次世代型監視カメラシステム
「セコムNVRシステム」

(株)東光クリエートがグループ入り セコムグループの施工体制を強化

セコムは昨年9月に、新潟県を中心に送・配電線・屋内工事・ケーブルテレビなどの電気設備工事や電気通信工事に豊富な経験とノウハウを持つ(株)東光クリエートの全株主と株式譲渡契約を締結しました。そして今年1月に全株式を取得し、東光クリエートがセコムグループ入りしました。

セコムは創業以来、最高品質のセキュリティサービスを提供するために、セキュリティ機器の研究開発、製造からセキュリティのプランニング、設置工事、監視、緊急対応、メンテナンスまでを一貫して行っています。

セコムでは、全国にセキュリティシステムの工事と建物設備のメンテナンスを行う部門を配置していますが、セキュリティ需要の拡大に伴い、さらなる施工力の強化が必要でした。そこで、地域社会への貢献と業容拡大に向けて業務エリアの拡大を目指していた東光クリエートと、両社の将来の方向性が合致し、同社のグループ入りが実現しました。

このたびの東光クリエートのグループ入りにより、セコムが強みとしている総合提案力と、東光クリエートが強みとして

いる電気設備工事におけるノウハウを活かし、電気設備工事と電気設備のメンテナンス部門の強化を図っていきます。



施工力のさらなる強化を目指す

インド初、日系企業と現地企業が経営する総合病院 「サクラ・ワールド・ホスピタル」を開院

■ 求められる医療サービスの質の向上

近年、世界各国で医療施設の数や医療サービスの質、医療従事者への教育整備の向上が求められています。これは経済成長が著しいインドでも同様です。

そこで、セコムのメディカルサービス事業を担うセコム医療システム(株)は、民間企業による病院経営が認められているインドで、高品質な医療サービスの提供を目指し、2012年6月、豊田通商(株)とインドの現地企業、キルロスカ・グループと合併でタクシャシーラ・ホスピタル・オペレーティング(株)を設立。今年3月、インド南西にあるカルナータカ州の州都バンガロールに、同社を運営母体とするインド初の日系企業と現地企業が共同運営する総合病院「サクラ・ワールド・ホスピタル」を開院しました。

同院は、脳・神経系、心臓系、消化器系の疾患を中心に、高度急性期医療に対応する高性能な医療機器と、入院・手術設備を備えた、17診療科目、294床を持つ総合病院です。



日本国内で培った医療サービスのノウハウを活用



手術の様様。高度な医療サービスを提供

■ 日本国内で培ったノウハウをインドに

「サクラ・ワールド・ホスピタル」は、セコム医療システムの日本国内における18の提携病院や提携クリニックに対する運営支援で培ったノウハウを活用することで、高品質で効率的な病院経営を行っていきます。

また、医療スタッフへの教育にも力を入れ、提携病院の看護師やリハビリスタッフなどが現地で研修や業務改善も行っています。

同院は、「最善の医療サービスで患者様のより良い生活をサポートする」という使命のもと、インドの医療に貢献していきます。

「サクラ・ワールド・ホスピタル」
外観



訪問看護師がモバイルICT端末を活用 情報の即時共有でサービスの質向上へ

セコム医療システム(株)では、全国33カ所で展開するセコム訪問看護ステーションの訪問看護師約300名に一人1台、タブレット型のモバイルICT(情報通信技術)端末を配付し、今年3月から使用を開始しました。300名へのモバイルICT端末の導入は、訪問看護の分野では日本最大規模の取り組みです。

このモバイルICT端末には、セコムの安全なサイバーセキュリティ対策が施されています。本モバイルICT端末の導入



モバイルICT端末でサービス品質の向上を図る

により、従来、紙の運用では困難だった、訪問看護サービスのご利用者の情報や看護記録の即時参照と即時入力、必要に応じた訪問看護ステーションや主治医との情報共有が可能となりました。そして、夜間や緊急時でも迅速な対応ができるため、訪問看護の質の向上と一層の業務効率化が期待できます。

今後は、主治医やケアマネージャー、地域の医療機関・介護事業会社との連携を見据えており、訪問看護師が訪問看護サービスのご利用者宅からリアルタイムで動画像のやりとりを行うことも可能となります。

セコム医療システムはこれからも高品質な訪問看護サービスの提供を目指していきます。

セコム初、在宅医療・介護サービスの総合拠点 「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」をオープン

今年4月、セコム医療システム(株)は、セコム初となる「訪問看護」「訪問介護」「通所介護」「居宅介護支援」の4サービス拠点を集約した、地域総合拠点「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」をオープンしました。このようなセンターの開設は、鎌倉エリアでは初めてです。

セコムは2003年から鎌倉市に拠点を設け、訪問介護サービスと居宅介護支援サービスを提供してきました。これらに加え、今回、訪問看護と通所介護を同一拠点に置くことで、訪問看護師・訪問介護員・ケアマネージャーなど、各スタッフが同じ職場で勤務することが可能となりました。

このケアセンターでは、スタッフのスムーズな情報共有と、訪問看護・介護と通所介護での柔軟な対応に取り組んでいます。訪問看護・介護での1対1のケアに加え、通所介護でご利用者の能力をプロの視点から引き出すことで、重度な認知症の方も在宅生活が継続できるように支援しています。

セコムグループは、理想的な訪問看護・訪問介護・通所介護・居宅介護支援体制を構築することで、地域の総合サービス拠点となる

ことを目指して
いきます。



在宅医療・介護サービスの
総合拠点を目指す
「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」

ネットバンキングの不正送金被害を防止 「セコムプレミアムネットサービス」を販売開始

被害が急増する社会的な課題を解決

近年、ネットバンキングにおける不正送金被害が急増しています。2013年中の被害は約14億600万円(32行、1315件)



専用端末(USB)をパソコンに接続するだけ

で、その被害金額は過去最大であった2011年の約3億円の約4.5倍と急激に拡大しています。

不正送金被害は高度化・巧妙化するサイバー攻撃によるもので、犯罪集団

の組織化が進んできたことや、未知のウイルスによる手口は従来の対策では防ぎきることが困難なことから被害拡大が続いており、有効な対策が求められていました。

この社会的な課題の解決を目指し、セコムの情報通信事業を担うセコムトラストシステムズ(株)は、昨年12月に「セコムプレミアムネットサービス」を販売開始し、今年1月からサービス提供を開始しました。

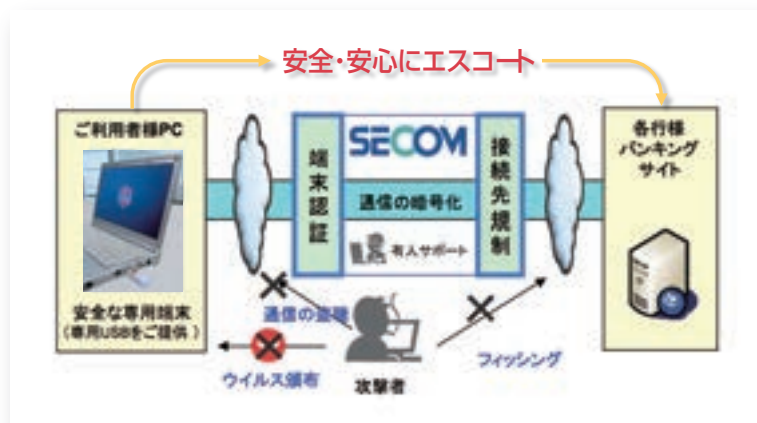
■ 独自ノウハウで金融機関とご利用者に安心を提供

「セコムプレミアムネットサービス」は、専用端末(USB)をお使いのパソコンに接続し、電源を入れるだけで、ネットバンキングサイトの入口まで安全に誘導することができます。

専用端末に組み込まれた「書き換えができない基本ソフト(OS)」と、「通信の暗号化・接続先の規制」による安全な通信経路の確保で、ウイルス感染と通信の盗聴や不正な誘導を防ぐことができ、「安全・安心」にネットバンキングをご利用いただけます。

本サービスは、金融機関や証券会社に向けた不正送金対策として、セコムトラストシステムズが各金融機関に専用端末と、安全な通信経路(セコムクラウド)を組み合わせ提供します。

国内最大級のデータセンター事業を通じて培ったサービス力、お客様のシステムを365日運用・監視する有人体制などのノウハウを結集して実現できたこのサービスを通じて、ネットバンキングの不正送金被害の防止に貢献していきます。



「セコムプレミアムネットサービス」
利用イメージ

セコムトラストシステムズ(株)が「サイバー道場」を開設 専用の仮想化環境でサイバー犯罪を実体験

今年1月、セコムトラストシステムズ(株)はサイバー攻撃に対する社会的な対処力の向上を目指し、「サイバー道場」を開設しました。

本道場は、あらゆる企業を対象に、サイバー攻撃の対処法を伝授する研修と、受講後もサイバーセキュリティ対策についての悩みを相談



独自のデータセンター内に専用仮想化環境を構築

していただくことができるサービスです。

セコムの研修センターで開催される研修では、セコムの「セキュアデータセンター」に各企業が持つネットワークと同様の環境を構築し、実際のウイルスによる攻撃の体験や、攻撃を受けた際の検知方法、被害を受けたサーバーの実態調査の技術などについて学び、サイバー攻撃への対策を見直す機会にさせていただくことを目的にしています。

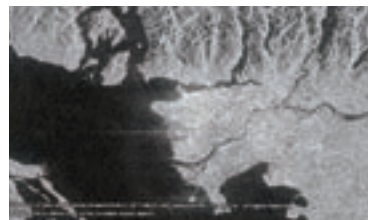
受講者は研修後もサイバー攻撃への対応について講師に相談することができることから、企業のサイバーセキュリティ担当者が技術のよりどころとすることができます。

また、情報漏えいやウイルス感染の被害が発生した場合、ご要請があればすぐに出動するセコムトラストシステムズの技術集団「サイバー消防団」の技術支援や技術交流会の開催なども行っています。開設以来、多くのお申し込みをいただき、好評を博しています。

(株)パスコが新たにカナダの衛星と契約 情報収集能力を一段と強化

セコムの地理情報サービス事業を担う(株)パスコは、世界最高レベルの画像解像度を誇る、カナダの合成開口レーダー衛星「RADARSAT-2(レーダーサットツー)」のデータ販売について、日本国内の独占販売に関する契約を締結。今年5月から日本国内でのデータ販売を開始しました。「RADARSAT-2」は、カナダの宇宙局と民間企業が共同で開発し、2007年から運用実績がある合成開口レーダー衛星です。

パスコは、2004年のスマトラ沖地震による津波災害を機に、従来の航空機による観測に加えて、地球規模で観測できる人工衛星を活用した災害モニタリングシステムを構想しています。現在、沖縄県糸満市、北海道千歳市に自社の人工衛星受信局を3局開局しており、人工衛星を用いて地球環境規模で空間情報を収集・解析し、防災や環境、森林、農業など幅広い分野でのサービス提供を行っています。



「RADARSAT-2」で撮影した衛星画像

今回の契約締結により、パスコが契約を結ぶ衛星は17基となり、情報収集能力を一段と強化しました。今後は各衛星からの観測データを利用し、独自の空間情報の処理技術や分析技術を活かし、より付加価値の高いサービスの提供を目指していきます。

高度なネットワーク技術力と専門家による機動力で 「安全・安心」なネットワーク社会を構築

サイバー攻撃による被害が 増加の一途をたどっています。

近年のサイバー攻撃は「標的型」と呼ばれ、金銭や知財、社会インフラの妨害を狙うなど、明確な目的を持って行われています。昨今ではネットバンキングによる不正送金被害が急増しており、2013年の被害総額は過去最大であった2011年の約3億円の約4.5倍に上ります。サイバー攻撃はウイルスを発見しづらく、発見しても未知のウイルスで対処が困難であり、もはや一企業や一個人で対抗できるものではありません。

巧妙化するサイバー攻撃への セコムトラストシステムズの取り組みを教えてください。

セコムトラストシステムズでは、未知のウイルスが潜んでいたとしても、重要な情報を外部に漏えいさせない、「セコム・サイバー攻撃対策サービス」や、

今年1月からはネットバンキングでの不正送金を防止する「セコムプレミアムネットサービス」を独自に開発し提供を始めました。
また、これからは、企業のネット



セコムの新サービス
**NEW
SERVICE**

セコム
トラストシステムズ(株)



時代や社会の変化を先読みして、社会に必要なサービスやシステムを創出するセコムグループ。

今回は、情報通信事業を担う、セコムトラストシステムズ(株)の新サービス開発への取り組みをご紹介します。

セコムトラストシステムズ(株)
常務取締役 藤川 春久

Haruhisa Fujikawa

ワーク担当者の方にも、実体験を通じてサイバー攻撃の脅威や現状を知り、対策を検討していただくことが大切と考え、情報セキュリティのプロがサイバー攻撃の現状から対策までをお教える「サイバー道場」を今年1月に開設しました。

セコムグループはビッグデータを活用した サービス品質の向上に取り組んでいます。

企業内に流れる大量の通信データから不正な通信だけを見つけることは技術的に困難になってきており、見えないものを見つけ出すための、ビッグデータ解析技術が不可欠です。サイバーセキュリティのプロとして、これらの技術を活用し、データの分析力をますます向上させ、「安全・安心」なネットワーク社会の構築を目指していきます。

看護・介護のスタッフが連携し 自宅での療養生活に安心を

■ 在宅医療の推進により、それを支えるサービスへのニーズが高まっていますね。

厚生労働省では、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的に、できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療を推進しています。

自宅で安心して療養するためには、医療面に加え、介護、リハビリ、生活支援といった生活にまつわるあらゆる面でのサポート体制が求められています。

■ セコムの在宅医療サービスについて教えてください。

セコムは、1991年に訪問看護サービスと薬剤提供サービスを、1994年には訪問介護サービスを開始しました。また、2004年には通所介護（デイサービス）を提供する「セコムシニア倶楽部」を開設しました。

これらの経験を踏まえ、医療・介護の面から総合的にサポートできる体制をつくりたいと考え、今年4月に「セコム在宅総合ケアセンター鎌倉」をオープンしました。

このケアセンターは、訪問看護・訪問介護・通所介護・居宅介護支援のスタッフが連携して、ご利用者の状態の変化に柔軟に対応できることが特長です。また、通所介護のご利用

セコムのフィールド
Field

セコム医療システム(株)



「安全・安心・快適・便利」を提供するセコムでは、メディカルサービスでも多岐にわたる事業を展開しています。今回は、セコム医療システム(株)の在宅医療サービスの取り組みをご紹介します。

セコム医療システム(株)
取締役 ケアサービス部長 武石 嘉子

Yoshiko Takeishi

者には、入浴と夕食も提供することで、仕事を持つご家族の方をサポートする体制も整えています。

■ 今後の取り組みについて教えてください。

私自身、訪問看護や訪問介護に携わってきた中で、病院から退院された方が、慣れ親しんだ自宅で自分らしさを取り戻し、表情が生き生きとしてきたり、日常生活のことが自分で行えるようになり、前向きになられる姿を見てきました。

これからも、療養される方とご家族の毎日に安心を提供できるサービスを、ご利用者の目線で考え、形にしていきたいと考えています。



ベトナムに新会社設立と、ミャンマーに進出 世界各国で培った高品質なセキュリティを提供



セコムグループはセキュリティだけでなく、
防災、メディカル、地理情報サービス事業で海外に展開し、
21の国と地域で「安全・安心」を提供しています。

（ 規制緩和を受けて ベトナムに新会社設立 ）



セコムは2006年にベトナムに進出しましたが、当時は外国資本の警備業への参入が認められておらず、コンサルティング事業を行っていました。しかし、2008年に外資規制が一部緩和され、昨年9月にセコムベトナムセキュリティサービス(株)を設立。現在、企業向けのオンライン・セキュリティシステムや常駐警備サービスの提供開始を目指し、準備を進めています。



ベトナム中心街ホーチミン

（ セコムグループ21カ国目 ミャンマーに進出 ）



昨年12月、セコムはミャンマーにある衛星放送事業等を展開するシュエタンリンググループと、(株)敬相とともに合弁会社、ミャンマーセコム(株)を設立しました。今回のミャンマー進出はセコムグループとしては21カ国目、セキュリティ事業では12カ国目の進出国です。

ミャンマーセコムでは、今秋から企業向けのオンライン・セキュリティシステム、安全商品の販売、常駐警備サービスの提供を目指しています。

これまでに世界各国で高い評価を得てきた高品質なセキュリティサービスをベトナム、ミャンマーでも提供していきます。



ミャンマー中心街ヤンゴン

新テレビCMを放送中 「未来をセコムする」篇

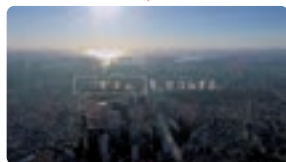
今年1月から、セコムの新しいテレビCM「未来をセコムする」篇を放送中です。

「安全・安心・快適・便利」をお届けするセコムグループの取り組みを、ご契約先やグループが運営する施設などの映像と「〇〇を、セコムする。」というフレーズ(〇〇の部分は映像に合わせて展開)でご紹介しています。

今回のCMの特徴の一つは、ナレーションがないこと。組曲「くるみ割り人形」第1幕第2曲の行進曲をアレンジした

軽快なメロディーに乗って次々とシーンが展開し、新鮮な印象を感じていただけるはず。最後は、首都・東京の空撮映像に合わせた「未来を、セコムする。」というコピーで締めくくられます。

セコムの提供番組である日本テレビ系列「真相報道バンキシャ!」、TBSテレビ系列「ぴったんこカン・カン」、テレビ朝日系列「報道ステーション」、BSフジ「PRIME NEWS」、BS-TBS「週刊BS-TBS報道部」でご覧いただけます。“ALL SECOM”で広がるセコムのサービスを、ぜひテレビCMでご覧ください。



お客様の健康を見守るメディカル事業(上)
グループ会社(株)パスコ制作の3D都市モデル(中)
これからも必要とされるサービスを創出(下)

「CDPジャパン500気候変動レポート」で高評価 セコムのさらなる企業価値向上を目指す

昨年11月、イギリス・ロンドンに拠点を置く著名な環境NPO法人・CDPが、日本の大手企業500社を対象に実施した地球温暖化防止への取り組みに関する調査報告書「CDPジャパン 500気候変動レポート2013」を発表し、その中で、セコムは気候変動の課題に積極的に取り組んでいる企業として高い評価を受けました。

セコムはディスクロージャースコア(課題認識と取り組み、情報開示度の評価)で100点満点中92点、パフォーマンススコア(具体的な取り組みと成果)でBクラス(A～Eの5段階評価の上から2つ目)に位置づけられました。ディスクロージャースコアが90点以上、かつパフォーマンススコアがBクラス以上だったのは、調査対象500社のうち41社。非製造業ではわずか12社。サービス業ではセコム1社のみでした。

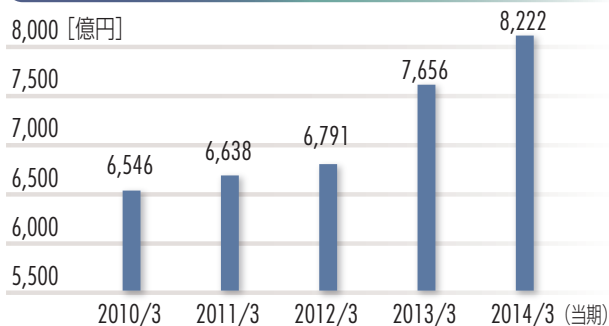
セコムグループは、今後も環境保全活動に取り組み、企業価値の向上に努めていきます。「CSRレポート2013」をセコムのウェブサイトに掲載し、活動を紹介しています。



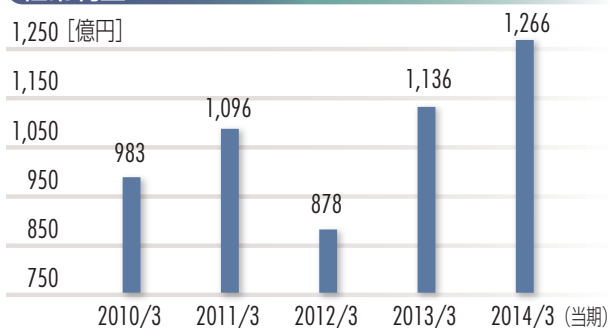
セコムの地球温暖化防止への取り組みは
セコムのCSRレポートでも紹介

連結決算 業績ハイライト

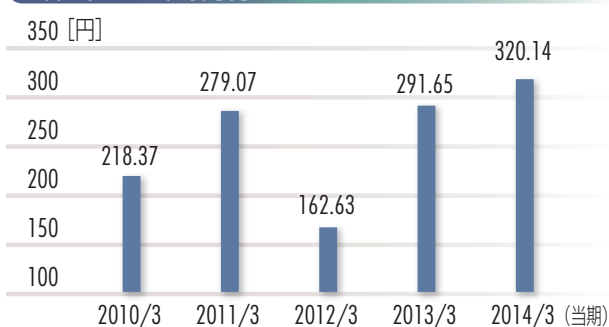
売上高



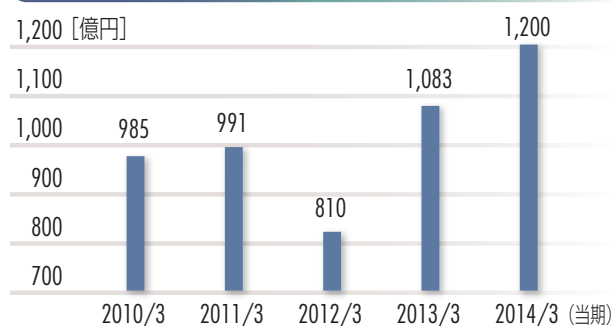
経常利益



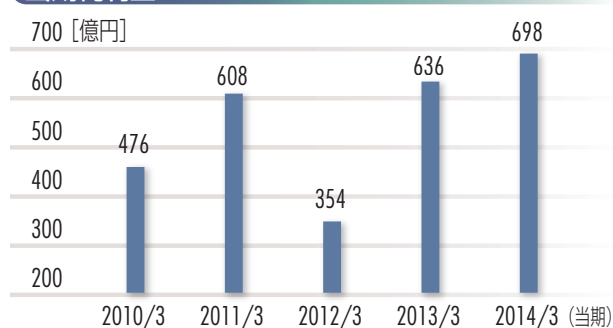
1株当たり当期純利益



営業利益

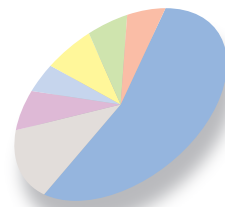


当期純利益



事業別売上高内訳 2014/3 (当期)

セキュリティサービス事業	4,591 [億円]	55.8%
防災事業	1,220	14.8%
メディカルサービス事業	538	6.5%
保険事業	357	4.4%
地理情報サービス事業	546	6.7%
情報通信事業	477	5.8%
不動産・その他の事業	490	6.0%



連結貸借対照表(要旨)

2014年3月31日現在

<単位：億円> *注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	5,585
現金及び預金	2,105
現金護送業務用現金及び預金	585
受取手形及び売掛金	1,153
未収契約料	251
有価証券	129
リース債権及びリース投資資産	331
たな卸資産	353
販売用不動産	154
繰延税金資産	132
短期貸付金	26
その他	360
固定資産	7,696
有形固定資産	3,608
建物及び構築物	1,532
警報機器及び設備	687
土地	1,139
その他	248
無形固定資産	535
投資その他の資産	3,552
投資有価証券	2,462
長期貸付金	457
退職給付に係る資産	176
繰延税金資産	135
その他	321
繰延資産	0
資産合計	13,282

負債の部

流動負債	2,566
支払手形及び買掛金	494
短期借入金	521
一年以内償還予定社債	46
未払金	313
未払法人税等	277
前受契約料	310
その他	604
固定負債	2,411
社債	77
長期借入金	172
預り保証金	365
退職給付に係る負債	185
保険契約準備金	1,410
その他	199
負債合計	4,978

純資産の部

株主資本	7,320
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	6,562
自己株式	△ 736
その他の包括利益累計額	△ 19
少数株主持分	1,002
純資産合計	8,303
負債純資産合計	13,282

連結損益計算書(要旨)

<単位：億円> *注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	当期 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)	前期 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	増減率
売上高	8,222	7,656	7.4%
売上原価	5,429	5,040	
売上総利益	2,792	2,616	6.7%
販売費及び一般管理費	1,592	1,532	
営業利益	1,200	1,083	10.7%
営業外収益	131	111	
営業外費用	64	59	
経常利益	1,266	1,136	11.5%
特別利益	20	9	
特別損失	38	26	
税金等調整前当期純利益	1,248	1,119	11.5%
法人税、住民税及び事業税	484	432	
法人税等調整額	△21	△2	
少数株主損益調整前当期純利益	784	690	13.7%
少数株主利益	85	53	
当期純利益	698	636	9.8%

営業の概況(連結)

当連結会計年度の日本経済は、政府による経済対策や金融政策の効果等により円安・株高が進行し、企業収益は改善傾向にあり、雇用・所得環境の改善も見られ、さらに消費税率引上げに伴う駆け込み需要もあり個人消費が増加するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中でセコムグループは、「いつでも、どこでも、誰もが安全・安心に暮らせる社会」を実現する「社会システム産業」の構築を目指し、お客様のニーズに合致した、質の高いサービス・商品を提供することに努めました。また、さらなる成長に向けて、「ALL SECOM」を継続的に推進しました。さらに、今後の日本の社会を見据えて、「セキュリティ」をベースに「超高齢社会」「災害・BCP・環境」といったキーワードを切り口に、「ALL SECOM」により新たなサービスを創出する取り組みを推進しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は8,222億円(前期比7.4%増加)となり、営業利益は1,200億円(前期比10.7%増加)となりました。経常利益は米国などにおける投資事業組合運用益40億円(前期は23億円)を計上したことなどにより、1,266億円(前期比11.5%増加)、当期純利益は698億円(前期比9.8%増加)となりました。なお、売上高、営業利益、経常利益および当期純利益はいずれも過去最高を達成することができました。

<参考> ●連結子会社数 174社
●持分法適用関連会社数 25社
●1株当たり当期純利益 320円14銭

連結株主資本等変動計算書(要旨)

2013年4月1日から2014年3月31日まで
<単位：億円> *注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

	株主資本					その他の包括利益 累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当連結会計年度期首残高	663	830	6,092	△736	6,850	△160	951	7,641
剰余金の配当			△229		△229			△229
当期純利益			698		698			698
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分		0		0	0			0
連結範囲の変動			0		0			0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						140	51	192
連結会計年度中の変動額合計	-	0	470	△0	469	140	51	662
当連結会計年度末残高	663	830	6,562	△736	7,320	△19	1,002	8,303

貸借対照表(単体・要旨)

2014年3月31日現在

<単位：億円>

*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

資産の部

流動資産	2,022
現金及び預金	809
現金護送業務用現金及び預金	568
未収契約料	149
売掛金	99
たな卸資産	67
短期貸付金	206
その他	121
固定資産	5,706
有形固定資産	1,196
建物	174
警報機器及び設備	666
土地	295
その他	59
無形固定資産	82
投資その他の資産	4,427
投資有価証券	237
関係会社株式・出資金	2,408
長期貸付金	1,437
長期前払費用	207
前払年金費用	169
その他	△ 33
資産合計	7,729

負債の部

流動負債	1,209
買掛金	34
短期借入金	367
未払金	187
未払法人税等	123
預り金	178
前受契約料	213
その他	105
固定負債	246
預り保証金	176
退職給付引当金	35
その他	35
負債合計	1,456

純資産の部

株主資本	6,247
資本金	663
資本剰余金	830
利益剰余金	5,490
自己株式	△ 736
評価・換算差額等	24
その他有価証券評価差額金	24
純資産合計	6,272
負債純資産合計	7,729

損益計算書(単体・要旨)

2013年4月1日から2014年3月31日まで

<単位：億円>

*注：金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

売上高	3,642
売上原価	2,158
売上総利益	1,484
販売費及び一般管理費	755
営業利益	729
営業外収益	102
営業外費用	42
経常利益	788
特別利益	4
特別損失	16
税引前当期純利益	777
法人税、住民税及び事業税	256
法人税等調整額	6
当期純利益	514

<参考> ●1株当たり当期純利益 235円94銭

会社概要

セコム株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-5-1

Tel: 03-5775-8100 Fax: 03-5775-8902

- 資本金 66,377百万円
- 社員数（グループ総数）53,567名（2014年3月31日現在）
- 事業内容

1962年、日本初の警備保障会社として創業。

1966年に日本で初めて開発したオンラインによる安全システムは、今では家庭や店舗、オフィスビル、金融機関、大規模商業施設などさまざまな施設に普及しています。

2001年からは、移動する人物・車両向けの新たなセキュリティサービスを開始したほか、常駐警備システムや現金護送システムの提供、各種安全商品などの販売を通じて、社会に「安全・安心」を提供しています。

セコムグループは、社会にとって「安全・安心・快適・便利」なサービスやシステムを次々に創造し、それらを統合化・融合化して、トータルな新しい社会システムとして提供する「社会システム産業」の構築を目指しています。

取締役(2014年6月25日現在)

取締役(最高顧問)	飯田 亮
代表取締役会長	前田修司
代表取締役社長	伊藤 博
常務取締役	中山泰男
常務取締役	安齋和明
常務取締役	中山潤三
常務取締役	古川顕一
取締役	吉田保幸
取締役	布施達朗
取締役(社外)	廣瀬筆治*
取締役(社外)	澤田貴司*

監査役(2014年6月25日現在)

監査役(常勤)	坂本正治
監査役(常勤)	桑原勝久
監査役(社外)	常松 健*
監査役(社外)	加藤秀樹*
監査役(社外)	関家憲一*

*印の5名を独立役員として
東京証券取引所に届け出ております。

執行役員(2014年6月25日現在)

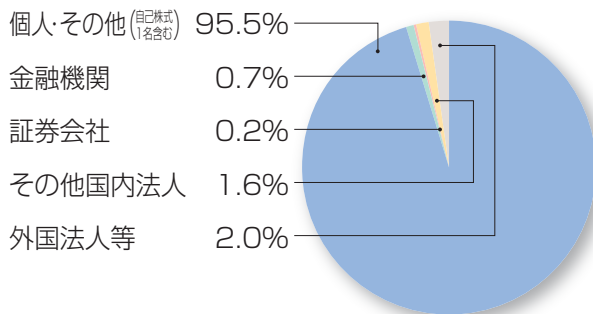
代表取締役会長	前田修司
代表取締役社長	伊藤 博
常務取締役	中山泰男
常務取締役	安齋和明
常務取締役	中山潤三
常務取締役	古川顕一
常務執行役員	向井俊之
常務執行役員	竹田正弘
常務執行役員	吉村輝壽
常務執行役員	森下秀生
常務執行役員	小松崎大夫
取締役	吉田保幸
取締役	布施達朗
執行役員	伊東孝之
執行役員	小松良平
執行役員	新井啓太郎
執行役員	園田博道
執行役員	石川 博
執行役員	杉本陽一
執行役員	泉田達也
執行役員	石村昇吉
執行役員	水野都飽
執行役員	福満純幸

I N F O R M A T I O N

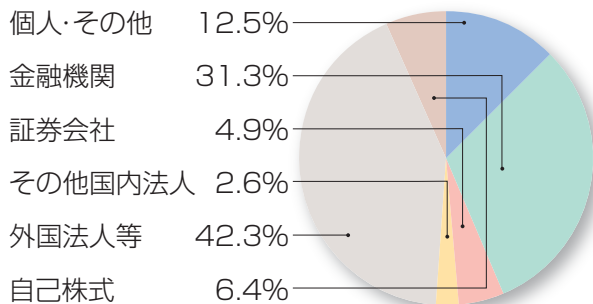
株式の状況(2014年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 900,000,000株
2. 発行済株式の総数 233,288,717株
3. 単元株式数 100株
4. 株主数 27,054名
5. 所有者別状況

●株主数比率



●株式数比率



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 証券コード 9735
- 公告方法 電子公告
<http://www.secom.co.jp/koukoku/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

株式に関する各種手続きについて

- 証券会社に口座がある株主様は… 口座がある証券会社へお問い合わせください。
- 特別口座に記録されている株式の株主様は… 下記の特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行(株)へお問い合わせください。
- 未払い配当金のお支払いに関するお問い合わせは… 下記の株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行(株)で承ります。

株主名簿管理人・特別口座管理機関 **三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部**

〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
☎0120-232-711 [平日 9:00~17:00]

手続用紙のご請求
☎0120-244-479 (音声自動応答)
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

増えています。
セコムといっしょに
お出かけしてるひと。



具合が悪くなったとき、
屋外でもセコムが駆けつけます。

ご自宅でも外出先でも、急に具合が悪くなったとき、専用端末のストラップを引っぱるだけでセコムが必要な対応を行います。サービス開始以来、大変ご好評いただいています。



セコムのナースと、
健康について相談できます。

ナースに健康に関して電話で相談できます。また、お客様の持病や服用中のお薬などを記載した「救急情報」をお預かりし、救急隊員や医療機関への情報提供に努めます。



介護事業会社による、
ご自宅でのサポートにつなげます。

専門的な介護サービスが必要な場合は、ご登録いただいた介護事業会社に連絡。ご要望があれば、セコムと協業する介護事業会社のニチイやツクイをご紹介します。



セコムが駆けつける。看護師と話せる。介護スタッフが支える。

セコム・マイドクタープラス



との協業により生まれた、「セコム・ホームセキュリティ」のお客様のためのサービスです。

※ニチイ、ツクイのサービスは、一部地域限定で提供し、順次拡大していきます。

セコム

検索



0120-025756 (24時間・年中無休) セコム株式会社

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

表紙写真のご説明

サクラ・ワールド・
ホスピタル
(インド)

2014年3月にインド・バンガロールに本格開院した総合病院。セコム医療システム、豊田通商、インド財閥のキルロスカ・グループが共同経営する「タクシャシーラ・ホスピタル・オペレーティング」が運営し、高度急性期医療に対応する高性能な医療機器と手術設備、入院施設(294床)を持つ。



本誌は環境に配慮し、FSC®認証紙および植物性インキを使用しています。

セコム コーポレート広報部 756-14-06-295